

# 心エコー

JOURNAL OF  
CLINICAL ECHOCARDIOGRAPHY

〔創刊〕2000年4月  
〔発行日〕毎月1日発行  
〔発行部数〕4,000部  
〔判型・頁数〕B5判・約110頁  
〔組仕様〕本文横組・縦2段・4色刷  
〔印刷〕オフセット印刷  
〔製本〕無線とじ  
〔定価〕2,970円  
(本体2,700円+税10%)

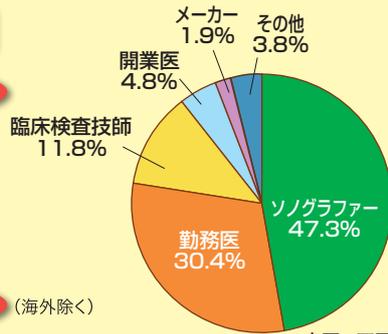
【発行】  
文光堂  
〒113-0033  
東京都文京区本郷7-2-7  
TEL 03-3813-5590  
FAX 03-3813-7241  
https://www.bunkodo.co.jp

## 月刊「心エコー」広告掲載のご案内

月刊「心エコー」は循環器疾患の画像診断に欠かせない心エコー図（心臓超音波検査）を専門とした医学雑誌として、2000年4月の創刊以来、大変ご好評いただいております。近年進歩の著しい心エコーの最新情報の提供と、心エコー図診断のレベルアップ、若手医師や検査技師の育成を目的とした編集方針で、毎号臨床に役立つ基礎的・応用的内容の記事を、リアルで美しい心エコー図写真とともに掲載しております。つきましては、ぜひ貴社の広告・宣伝スペースとして本誌をご活用くださいますようお願い申し上げます。

### 【読者分布】

#### ●職種別読者分布



#### ●地域別読者分布 (海外除く)



### ●広告料金表

表4 (4色)	定価 363,000円 (本体 330,000円+税 10%)	前付 (1色) 1ページ	定価 110,000円 (本体 100,000円+税 10%)
表2 (4色)	定価 308,000円 (本体 280,000円+税 10%)	記事中 (4色) 1ページ	定価 165,000円 (本体 150,000円+税 10%)
表3 (4色)	定価 242,000円 (本体 220,000円+税 10%)	記事中 (4色) 1/2ページ	定価 88,000円 (本体 80,000円+税 10%)
前付 / 表2対向 (4色)	定価 242,000円 (本体 220,000円+税 10%)	記事中 (1色) 1ページ	定価 77,000円 (本体 70,000円+税 10%)
前付 / 扉対向 (4色)	定価 220,000円 (本体 200,000円+税 10%)	記事中 (1色) 1/2ページ	定価 44,000円 (本体 40,000円+税 10%)
前付 / (4色) 1ページ	定価 198,000円 (本体 180,000円+税 10%)	綴込 1枚	定価 165,000円 (本体 150,000円+税 10%)

●広告締切 (広告申込・原稿締め切り日) 発行日の前々月 15日

### ●広告原稿

サイズ: 1頁 天地 220mm×左右 150mm, 1/2頁 天地 110mm×左右 150mm, プリード 天地 257mm×左右 182mm  
形態: 完全データ入稿

【記事体広告料金】(データ入稿の場合)2色・1頁:定価 143,000円(本体130,000円+税10%), 4色・1頁:定価 275,000円(本体250,000円+税10%)  
【完成版納品の場合】綴込1枚:定価 220,000円(本体200,000円+税10%)

【綴込記事広告についての特記事項】

●文中に広告である旨を表示してください。例)○○株式会社提供

●事前に、著者名(対談者名)・タイトル・内容を編集部あてにご提出ください(納品締切の1ヶ月前頃をお願いします)。

\*査読の結果、掲載をお断りする場合もございます。

### ●お申し込み先/お問い合わせ先

株式会社 文光堂 広告・宣伝課

〒113-0033 東京都文京区本郷7-2-7

TEL: 03-3813-5590 FAX: 03-3813-7241 MAIL: koukoku@bunkodo.co.jp

【本誌の概要】

循環器疾患の画像診断に欠かせない心エコー図検査（心臓超音波検査）を専門とした医学雑誌。近年、進歩の著しい心エコーの最新情報の提供と、心エコー図診断のレベルアップ、若手医師やソノグラファーの育成を目的とした編集方針で、毎号臨床に役立つ基礎的・応用的内容の記事を掲載。本誌とリンクしたWEB 動画も好評公開中。

【編集委員】

〔編集長〕伊藤 浩(岡山大学)・石津 智子(筑波大学)・泉 知里(国立循環器病研究センター)・大倉 宏之(岐阜大学)・瀬尾 由広(名古屋市立大学)・大門 雅夫(東京大学)

【読者対象】

循環器内科医を中心に心臓血管外科医、麻酔科医、または、ソノグラファー（超音波検査士）など

本誌の特色

- 心エコー図を‘撮って、読む’ための知識を幅広くカバー！
- 進歩の著しい心エコー図の最新動向を伝える！
- リアルで美しい心エコー図写真をオールカラーで掲載！

本誌の構成

わかりやすく読みやすい4色刷りの誌面

特集

毎号、最新のニーズを捉えた特集テーマと臨床現場ですぐに活かせる切り口が好評！



特集

ワンランク上の心エコー図検査 定量的評価していますか？

僧帽弁閉鎖不全症の定量的評価

阿部幸雄 大阪府立総合医療センター循環器センター循環器内科

僧帽弁閉鎖不全症(僧帽弁逆流; MR)の重症度評価においては、proximal isovelocity surface area (PISA)法やドプラ法を用いたvolumetric法といった定量法を用いることが必須である。簡便にカラードプラ法で定性的あるいは半定量的な評価をしたほうが検査者間差の少ない正確な検査ができるかという点は実はそうではない。もちろん定量法にも欠点がある。それを踏まえたうえでやはり定量法を積極的に用いるべきであることを本稿で述べる。

定量評価を用いた手術適応決定

現行の僧帽弁閉鎖不全症のガイドラインでは、症状と心エコー図検査の結果の2点を軸として外科的あるいは経カテーテル的な治療的介入の適応を決定する<sup>1)</sup>。しかるに、外科的介入決定においては経カテーテル心エコー図検査が最も重要な検査である。治療適応の決定に用いられる心エコー図検査指標は、定量的評価で決定した閉鎖不全症の重症度がより閉鎖不全の結果として生じている心機能低下



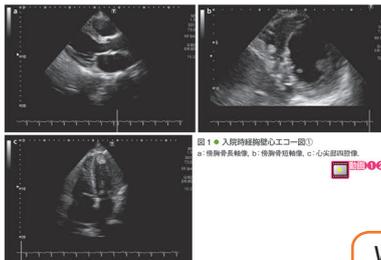
理解の助けとなる豊富なカラーイラスト

心エコー図検査の定量評価は、視覚的にわかりやすい簡便な方法だが、カラードプラ法における流速ドプラの大きさ、流速設定や時間、弁逆流の範囲、逆流ジェットの向きによって大きく異なる(図1、図2)。<sup>2)</sup> 図3においてカラードプラのゲインの最適な設定方法について説明した。また、内腔の壁に沿うような扇形性ジェットでは逆流量を過小評価してしまう

症例問題

労作時息切れ・浮腫・夜間呼吸困難を主訴とし、心筋梗塞・心不全疑いで紹介受診となった1例

●本症例における左右心室内の異常エコー像は何か？



● 1 ● 入院時経胸壁心エコー図) a: 左心房長軸切面、b: 右心房長軸切面、c: 左心房短軸切面、d: 右心房短軸切面

診断力が身につく症例問題をはじめ、最新の学術集会のトピックを先取りするEchoTrend等、楽しく学べる読みものも掲載！

連載

美しいエコー画像と詳しい図説明で判読力アップ！

WEB動画と連動した症例問題が好評！ (登録すれば無料で閲覧できます)

- 臨床現場ですぐに活かせることに重点を置いた特集内容。
- 美しいエコー画像を撮るための技術の知識も豊富。
- 心エコー図検査の役割は、診断だけでなく、治療の適応判断、治療後のフォローアップまで多岐に渡る。本誌では、心エコー図を“撮る・読む・活かす”ために薬物治療や手術など治療法の解説にも力を入れている。